



第121期 報告書

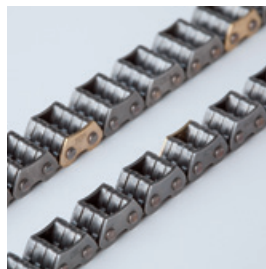
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

四輪車用

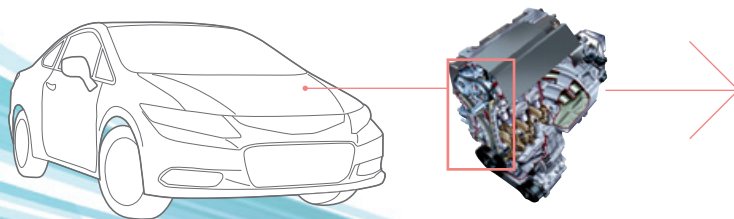
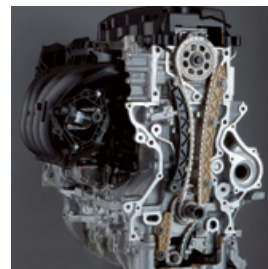
当社独自の特殊表面処理技術で、優れた耐摩耗性・疲れ強さ・高い静音性を実現した四輪車エンジン内チェーン。

[主な納入先] HONDA、TOYOTA、DAIHATSU、MAZDA、SUBARU、SUZUKI、HYUNDAI、第一汽車

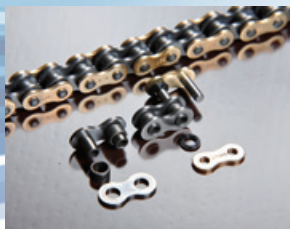
■ タイミングチェーン



■ チェーンシステム



■ ドライブチェーン



■ カムチェーン



■ 鉄リム



■ アルミリム



D.I.D

モノづくりへの情熱で世界

二輪車用

[D.I.D] ブランドの高い信頼性と実績により、世界No.1の評価をいただく二輪車用チェーンは、多くの完成車メーカーに純正品として採用いただいております。

[主な納入先] HONDA、YAMAHA、SUZUKI、KAWASAKI、BMW、DUCATI、HARLEY-DAVIDSON

高度化・多様化するニーズに、コンサルテーション能力と開発力、固有技術で、お客様の環境に合わせたソリューションを提供しています。

動力伝動・搬送用チェーン



[主な仕様用途]

- ・立体駐車場
- ・フォークリフト
- ・建設機械・農業機械
- ・食品加工機械
- ・印刷機械・包装機械

産業機械用チェーン (静音チェーン)



コンベヤシステム

粉粒体・環境関連設備向け エプロンバケットコンベヤ



製鉄関連設備向け コイルコンベヤ



事業領域

に感動をお届けするヒューマンテクノロジー

私たちは創業以来、「伝える」「運ぶ」をテーマに、世界のニーズを満たす技術の徹底追求を行い、高機能、高品質な製品をお届けしてきました。

その根底には、人にふれあう技術、人とともに伸びる技術という思想が貫かれています。

ものづくりは人づくり、そして情熱。私たち大同工業グループは、絶えず人と技術を原点に置き、ひたむきに「D.I.D」ブランドへの期待と信頼にお応えしています。

いす式階段昇降機 (楽ちん号)



車いす用階段昇降機 (JDエスカル)



福祉機器

豊かで快適な福祉社会を実現するため、使う人の立場に立ったユニバーサルデザインに基づく福祉機器の開発を通じて、バリアフリー社会に貢献しています。



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第121期事業年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長 新家 康三

事業の経過及び成果

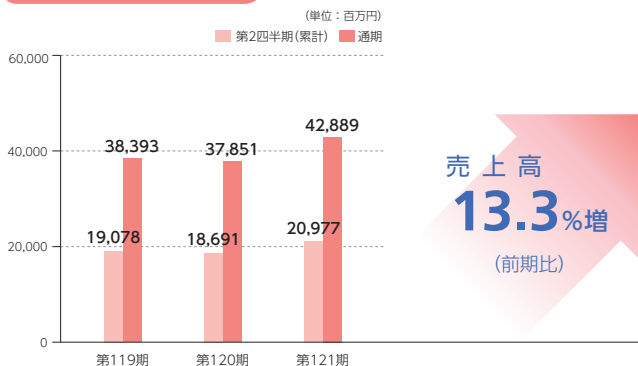
当期における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済の回復基調が続いたものの、新興国における通貨安や経済成長の鈍化傾向が継続するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。国内においては、日銀の金融緩和政策及び政府の経済政策を背景に円安・株高が進行し、景気は緩やかに回復いたしました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、

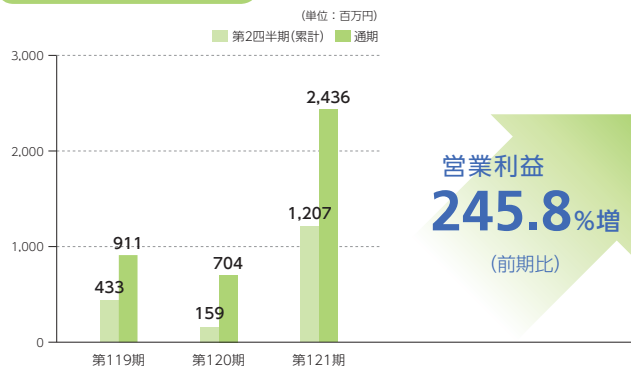
為替の円安効果や国内の設備投資の回復基調を受け受注が堅調に推移いたしました。また、インドにおいて二輪車用チェーンの一貫生産工場建設、米国においては四輪車用チェーン生産工場建設を進めるなど、更なるグローバル展開の推進に努めてまいりました。

その結果、当期の連結売上高は428億89百万円（前期比13.3%増加）、連結営業利益は24億36百万円（前期比

売上高



営業利益



245.8%増加)、連結経常利益は29億54百万円(前期比197.6%増加)、連結当期純利益は16億14百万円(前期比132.1%増加)となりました。

なお、第121期の期末配当につきましては、普通配当を前期に比べ2円増配の5円とするとともに、これまでご支援いただきました株主の皆様への感謝の意を表するため、平成25年5月に創立80周年を迎えたことを記念する記念配当1円を加え、当社普通株式1株につき金6円とさせていただきます。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、米国を中心とした先進国の景気回復基調に支えられ、緩やかな成長が見込まれます

が、新興国経済の成長鈍化や中国の景気先行きに不透明感が継続するなど、引き続き予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況のもと、『新たなステージへの変革』をスローガンとする第9次中期経営計画(2012~2014年)の最終年度を迎え、インドにおいて二輪車用チェーンの一貫生産、米国において四輪車用チェーンの組立生産の本格稼働を目指すなど、グローバル事業の更なる展開を図るとともに、将来の収益源となる柱を確立すべく、新規事業の創出を目指してまいります。また、次世代を担う人財を育成し、常に発展しつづける企業体質づくりを進めてまいります。

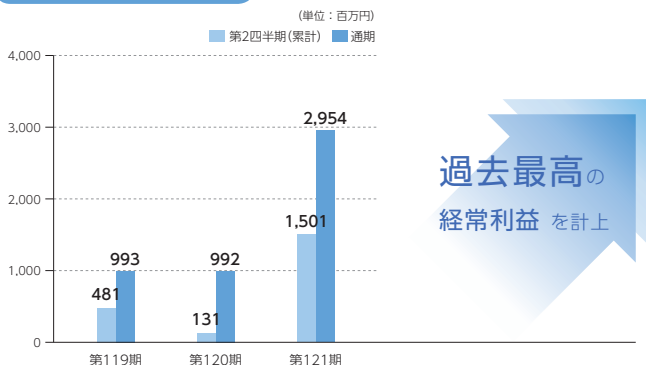
株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第122期(平成27年3月期)連結業績予想

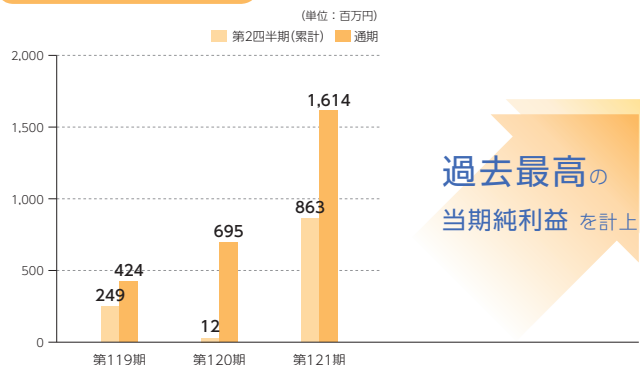
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期(累計)	21,600	900	1,000	500
通期	44,100	2,100	2,300	1,200

経常利益



当期純利益

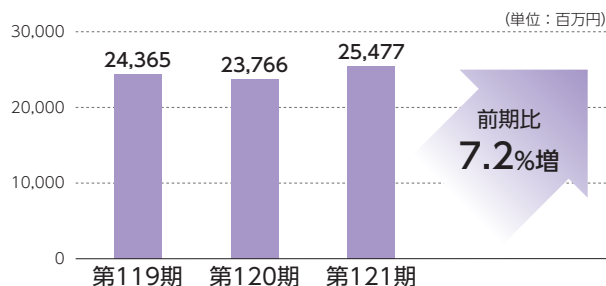


所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

● 日本

二輪車用チェーン、リム等については、為替の円安効果があったものの、二輪車メーカーにおいて一部機種の海外生産移管等の影響により、受注が低調であったことから前期を下回りました。農機用ホイールについては、排ガス規制や農業助成金等の効果によりメーカーの生産が好調に推移したことから前期を上回りました。四輪車用チェーン等については、国内向けにおいて、燃費向上に寄与する新規開発チェーンが新型及び既存軽自動車に採用されたこと、また、円安を背景とした四輪車メーカーの輸出向けの生産増加により、受注が好調であったことから、前期を上回りました。産業機械用チェーン等については、国内設備投資が回復基調であったことから、受注が堅調に推移するとともに、コンベヤについて、製鉄、建機メーカー向けの大型案件の売上が計上されたことから、前期を上回りました。

その結果、売上高は254億77百万円となりました。

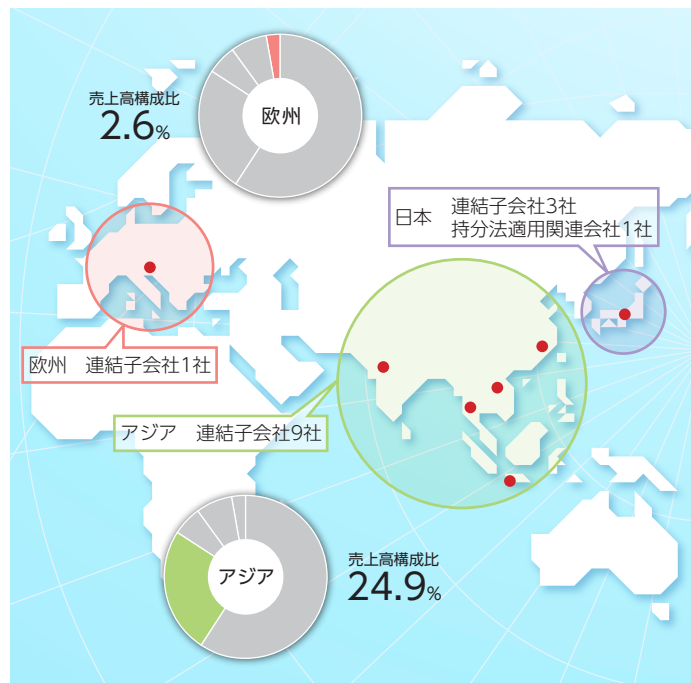


● ご参考 ●

仕向地別セグメント

(顧客の属する国または地域を基準としたもの)

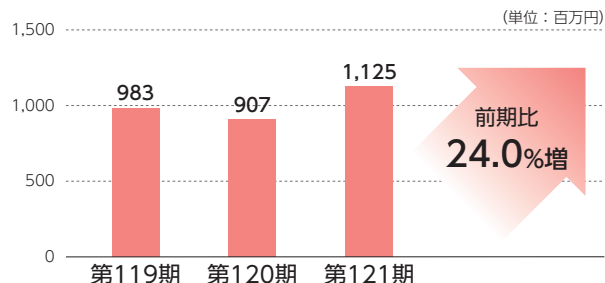
	売上高 (百万円)	構成比 (%)
日 本	22,820	53.2
ア ジ ア	12,126	28.3
北 米	2,465	5.7
南 米	3,386	7.9
欧 州	1,744	4.1
そ の 他	345	0.8

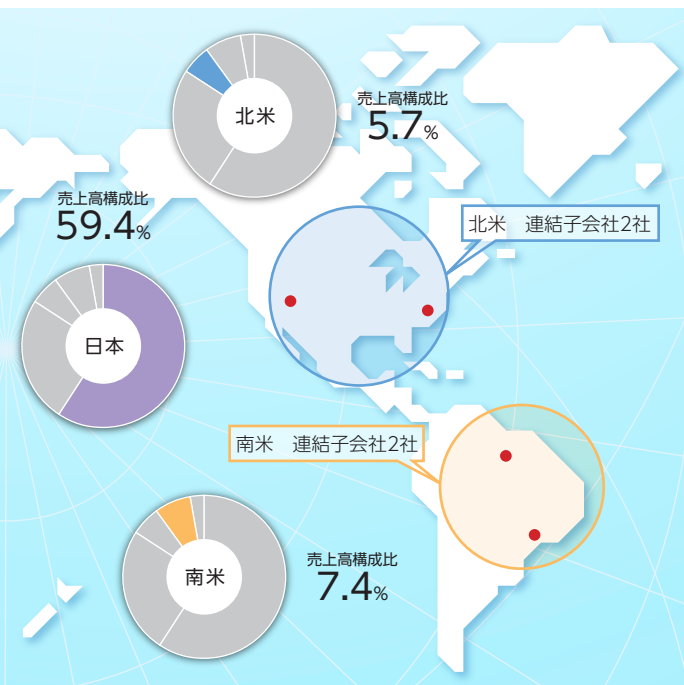


● 欧州

二輪車用チェーン等については、補修市場向けは欧州経済不況により依然として厳しい状況で推移したものの、完成車メーカー向けにおいて、新機種の受注を獲得したことに加え、為替が円安基調で推移したこともあり、前期を上回りました。

その結果、売上高は11億25百万円となりました。

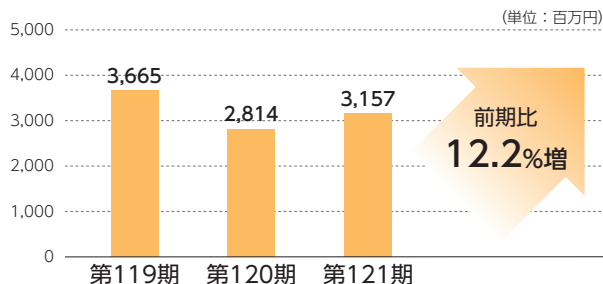




● 南 米

二輪車用チェーンについては、政府による金融規制の影響により、二輪車メーカーの生産が低調であったものの、補修市場向けが好調であったことから、前期を上回りました。

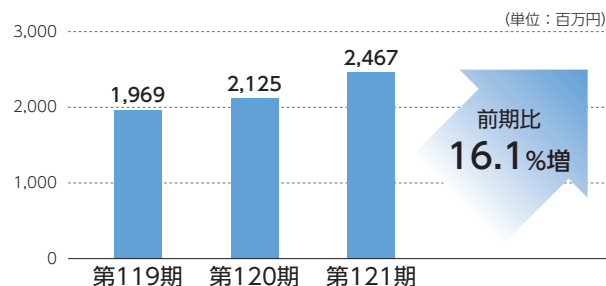
その結果、売上高は31億57百万円となりました。



● 北 米

二輪車用チェーン、リムについては、為替の円安の影響はあったものの、北米での二輪車市場の景況は依然厳しく、受注が低調であったことから、前期を下回りました。一方、四輪車用チェーン及び産業機械用チェーンについては、受注が堅調に推移したことから、前期を上回りました。

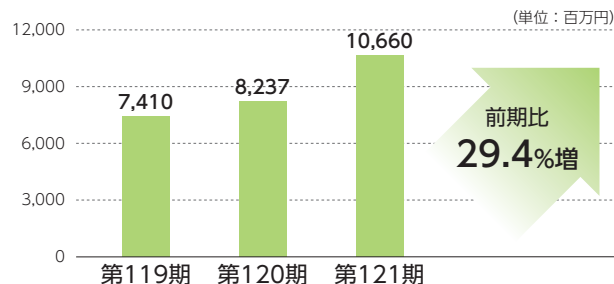
その結果、売上高は24億67百万円となりました。



● アジア

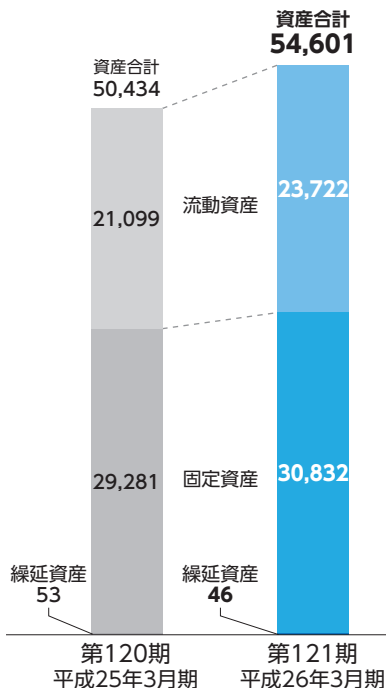
二輪車用チェーン、リム等については、アセアン諸国を中心に受注が好調であったとともに、インドにおいても着実に受注が増加したことから、前期を上回りました。四輪車用チェーンについては、タイ、インドネシアを中心に受注が順調であったことから、前期を上回りました。コンベヤ関連については、前期9月にタイにおいて、新規連結子会社INTERFACE SOLUTIONS CO.,LTD.が加わったことで前期を上回りました。

その結果、売上高は106億60百万円となりました。



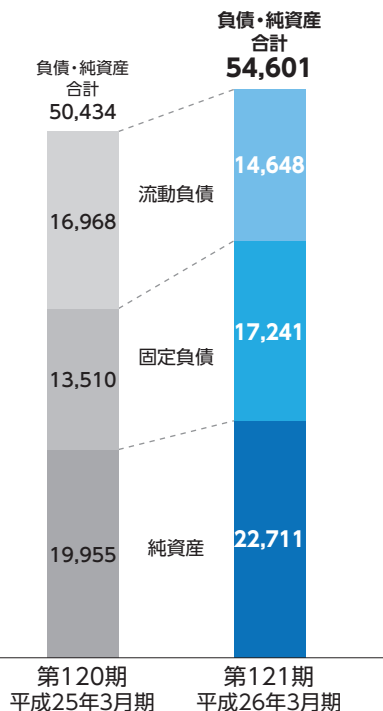
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円



ポイント解説

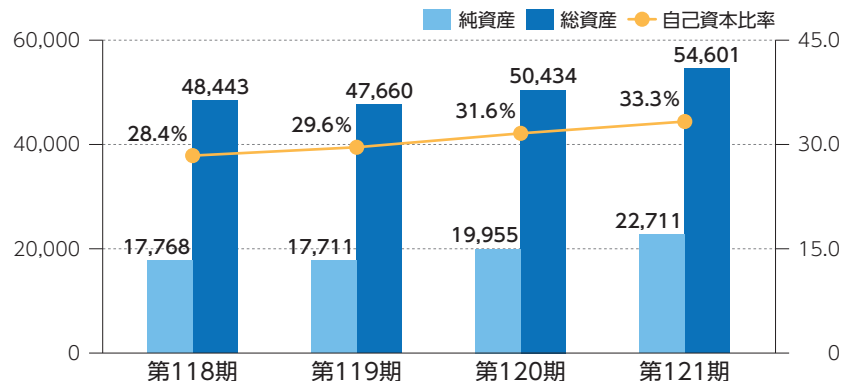
総資産は、現金及び預金、建設仮勘定、投資有価証券、機械装置及び運搬具が増加したことなどにより、前期末と比べ41億66百万円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金、繰延税金負債が増加したことなどにより、前期末と比べ14億10百万円増加しました。

純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定、少数株主持分が増加したことなどにより、前期末と比べ27億55百万円増加しました。

純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

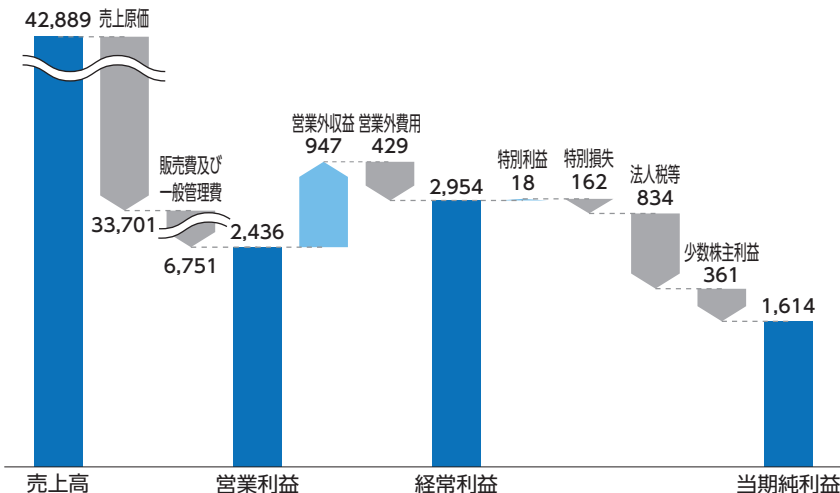


ポイント解説

自己資本比率は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末と比べ1.7ポイント増加の33.3%となりました。

● 損益の状況 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

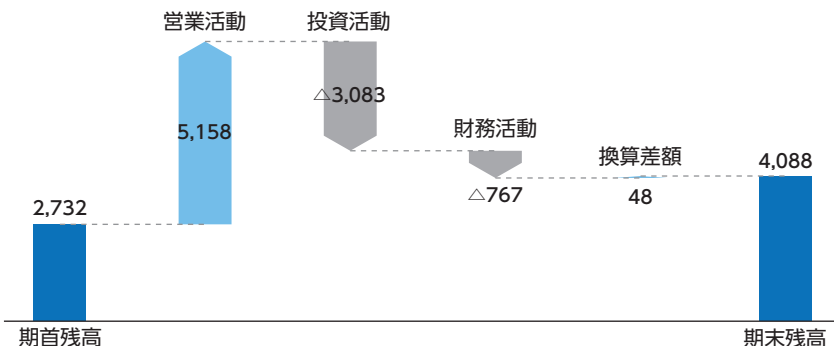
売上高につきましては、日本、アジア、北米において四輪車用チェーンの受注が好調であったこと、また、国内設備投資の回復基調により産業機械用チェーン等についても受注が堅調に推移しました。更には、主力製品の二輪車用チェーンについても、アセアン諸国を中心に受注が好調であったことに加え、為替の円安効果も追い風となり、結果として前期比50億37百万円増加の428億89百万円となりました。また利益面においても、過去最高の経常利益及び当期純利益を計上するなど、前期を大幅に上回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第121期 平成26年3月期	42,889	2,436	2,954	1,614
第120期 平成25年3月期	37,851	704	992	695

● キャッシュ・フローの状況 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が増加した一方、税金等調整前当期純利益及び減価償却費を計上したことに加え、仕入債務が増加したことなどにより、51億58百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入、有形固定資産の取得などにより30億83百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入の返済、配当金の支払などにより7億67百万円の支出となった結果、当期の期末残高は前期と比べ13億55百万円増加しました。

■ 超小型電気自動車『FOMMコンセプトone』を共同開発

中期的将来に向けた次世代自動車市場での新規事業基盤の確立を目指す当社は、次世代型モビリティの製造に関する技術やノウハウを有する株式会社FOMM（本社：神奈川県川崎市、代表取締役：鶴巻日出夫 氏）及び日本特殊陶業株式会社と共同で、超小型電気自動車『FOMMコンセプトone（フォーム コンセプト ワン）』を開発し、本年2月に正式発表しました。

株式会社シムドライブの電気自動車先行開発事業への参画に引き続き、量産を想定した開発事業として、当社は、昨年4月にFOMM社の超小型電気自動車開発事業に出資参画し、車両構造設計及び電装開発を担当する技術者を派遣のうえ、車両骨格の開発納入を行うなど開発全般に携わっております。

FOMMコンセプトoneは、本年3月に開催されたバンコク国際モーターショーへの出展を果たし、既に一定以上の市場評価を獲得しておりますが、今後は目標とする東南アジアでの販売開始を目指し、より積極的に機能及びコストの更なる適正化を図ってまいります。

【FOMMコンセプトoneの特徴】

- 世界最小クラス4人乗り超小型電気自動車。
（全長2495mm、全幅1295mm、全高1550mm、車両重量460kg。）
- FFインホイールモータ採用。
- ガソリン換算燃費96.7km/ℓ[※]。
- 全て手を使った新しい操作感覚。
- カセット式バッテリーを採用。
（最大航続距離は約100km。家庭での非常用電源としても使用可能。）
- 水害対策として水浮上機能を装備。ジェット水流発生機能による水面移動も可能。
- 国際特許3件出願中。

FOMM Webサイト：<http://fomm.co.jp/wordpress/>



■ 福田工場の増床と新型設備が完了

昨年7月より進めてまいりました当社福田工場（石川県加賀市）の増床及び新型設備の導入が完了し、量産開始に向けた最終調整と本年7月に行われる設備始動式を経て、本格稼働の運びとなります。

チェーン部品の特殊表面処理を行う新型設備は、従来の設備と比べて約2倍の処理能力を有しながらも、部品の投入から排出までを完全に自動化することで、安全・品質面にも十分配慮されたものとなっており、段階的に増設し順次稼働させることで、より迅速且つ効率的な生産を実現いたします。今後は、当社グループにおけるマザー工場としての機能が強化された福田工場と海外拠点間において、より合理的な相互補完体制を構築し、当社グループにおけるグローバル事業の更なる展開を図ってまいります。

【福田工場の概要】

- (1) 所在地：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
- (2) 事業内容：二輪車用チェーン及び四輪車用チェーンの製造
- (3) 敷地面積：約54,500㎡
- (4) 延床面積：約26,500㎡（内、増床部分 約850㎡）
- (5) 投資総額：約276百万円（増床及び新型設備の導入に係る投資額）



■ アメリカ子会社で建設中の新工場が本格稼働間近

主に二輪車用チェーン・リム及び産業用チェーンの輸入販売を行ってきた当社のアメリカ子会社DAIDO CORPORATION OF AMERICAは、新たなビジネス展開として北米四輪車市場への本格参入を目的に、昨年8月より四輪車用エンジン内チェーン及び関連システム部品を生産する新工場の建設を進めておりました。



現在、工場の稼働開始を直前に控え、導入設備の試験稼働と最終調整を行っており、本年7月の落成式を経て徐々に本格的な生産に移行し、お客様への納入を開始する見通しです。

今後も更なる成長が期待される北米四輪車市場において、お客様のメリットを最大限に生み出すための製品を、タイムリーに提供できる体制作りを一層進め、当社グループにおけるグローバル事業の更なる展開を実現してまいります。

会社の概況 (平成26年3月31日現在)

商号：大同工業株式会社
 設立年月日：昭和8年5月25日
 資本金：27億2,637万円
 従業員：720名（個別） 2,424名（連結）

事業所 (平成26年3月31日現在)

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地
 福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
 動橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1
 東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4 (MS-2ビル)
 大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12 (新家ビル)
 名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7
 浜松営業所：浜松市中区萩丘1-19-11
 熊本営業所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

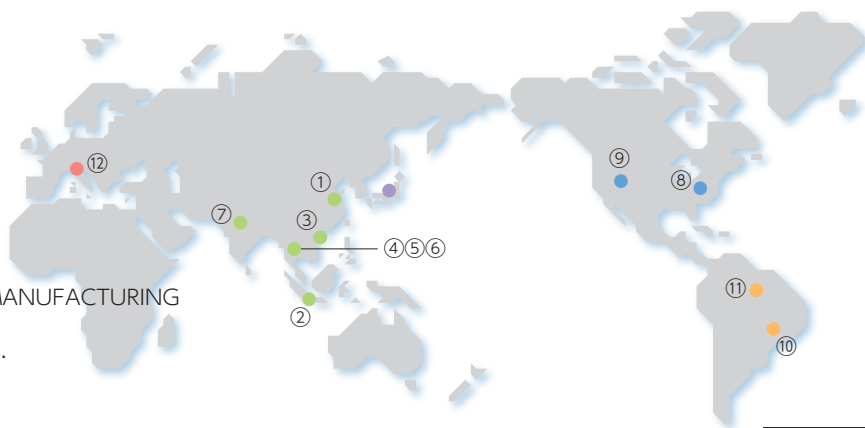
グローバルネットワーク (平成26年3月31日現在)

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条（常熟）有限公司
- インドネシア ② P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ③ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- タイ ④ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑤ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑥ INTERFACE グループ (3社)
- インド ⑦ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- アメリカ ⑧ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- アメリカ ⑨ RAD MANUFACTURING, INC.
- ブラジル ⑩ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑪ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑫ DID EUROPE S.R.L.



- 日本
- アジア
- 北米
- 南米
- 欧州

会社役員状況 (平成26年6月27日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役社長	新家康三
専務取締役	立田康行
常務取締役	中野金一郎
常務取締役	平野信一
常務取締役	新家啓史
取締役	菊知克幸
取締役	清水俊弘
常勤監査役	福田治
監査役	笠松靖男
監査役	棚橋健一
監査役	東森正則

- (注) 1. 監査役笠靖男氏、監査役棚橋健一氏及び監査役東森正則氏は、社外監査役であります。
 2. 当社は、監査役棚橋健一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。

株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株 (自己株式48,827株含む)

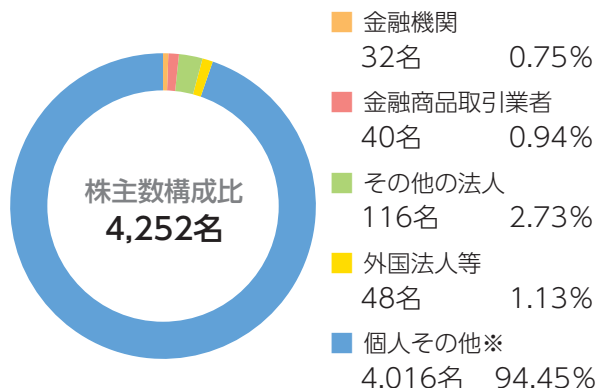
株主数：4,252名

大株主（上位10名）

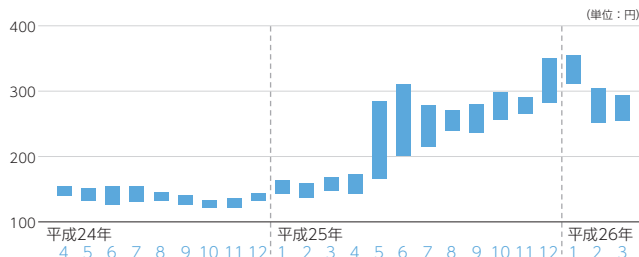
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社 飯田	2,308千株	4.90%
株式会社 北國銀行	2,281	4.84
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,328	2.82
加賀商工有限会社	1,308	2.78
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社 みずほ銀行	1,291	2.74
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
新家 萬里子	1,287	2.73
三井住友信託銀行株式会社	1,176	2.50

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

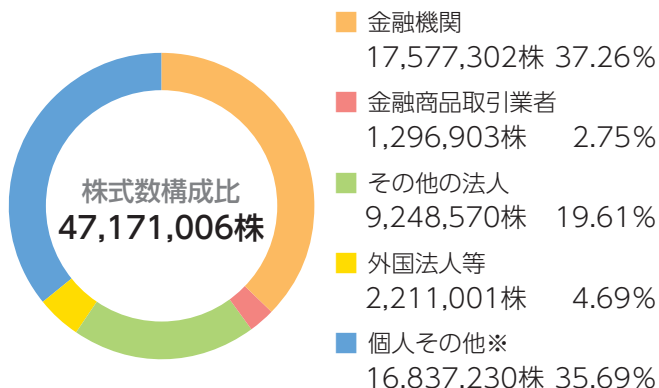
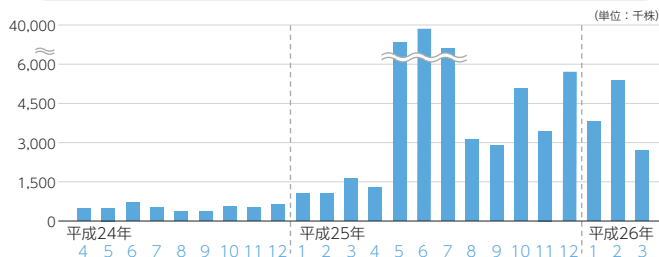
株式分布状況



株価（高値・安値）の推移



出来高の推移



※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

大同鏈条（常熟）有限公司の概要

会社設立時期：2005年4月
 資本金：4,100千円
 所在地：中国江蘇省常熟高新技术産業開發区珠涇路金湖工業坊3号
 敷地面積：15,000㎡
 建築面積：6,498㎡
 取得認証規格：ISO9001
 従業員数：98名（2013年12月末）
 ホームページURL：http://www.did-daido.cn/

大同鏈条（常熟）有限公司（以下、DC）は、上海から北西へ約100kmの距離にある江蘇省常熟高新技术産業開發区に、国内向けを中心とするコンベヤの製造・販売を目的として設立されました。DCがその拠点を置く常熟市には、高速道路や港湾、空港などの物流インフラが非常に充実していることから、ここ数年は日系企業の進出がますます盛んとなり、常熟市在住の日本人は1,000人を超えたとされています。また、文化施設などが多く、治安も良いため住みやすい街です。

コンベヤの会社としてスタートしたDCですが、2006年末には第2工場を増設し二輪車用チェーンの組立を開始し、その翌年には四輪車用チェーンの組立にも着手するなど、着実に事業領域の拡大と経営基盤の安定を図ってまいりました。現在の生産・販売品目はコンベヤ、二輪車用及び四輪車用エンジン内チェーン及びそのシステム部品、二輪車用ドライブチェーンが主なものとなっています。

コンベヤ事業については、近年の中国政府の国産化推奨の動きと中国ローカル企業の低価格品の浸透により販売の低迷が続いており、一昨年の尖閣諸島国有化に端を発する反日運動の影響以降も、売上面で苦戦を強いられています。このような状況のもと、ローカル企業が技術的に追従できていない分野にて需要を掘り起こし、DCの原点であるコンベヤ事業の更なる発展を図ってまいります。

また、チェーン事業については、中国国内のモータリゼーション拡大の流れに乗り、販売数を大きく伸ばし、現在では売上全体の80%以上を占めるまでに成長しております。昨年度は、日本車販売数の急回復に伴うチェーン売上高の増加と為替変動の恩恵を受け、創業以来最高の経常利益を上げることができました。しかしながら、徐々にローカル企業の台頭が目立つようになり、製品の低価格化が加速しています。今後は、従来の高性能仕様に加え、中国最適化仕様をラインナップに追加し、低価格品需要にも対応できる体制を整え、シェアの維持と新規顧客の獲得に努めてまいります。

一時の急激な成長の勢いは落ち着きを見せているとはいえ、中国経済の市場スケールは成長著しいASEAN諸国と比較しても巨大であり、依然として大きな需要が見込めます。日中間には政治的に難しい問題が山積していますが、巨大な中国市場における唯一の拠点である我々DCは、グローバル展開を推進するDIDグループの一員として、その責務を果たし、DIDブランドの更なる浸透のため、従業員一同、一層の努力と変革を進めてまいります。

DCの新しい展開にご期待・ご注目下さい。



▲DC外観



▲第2工場の様子



▲DC製コンベヤ(バケットエレベーター)

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
単元株式数	1,000株		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	☎ 0120-782-031		
(インターネットHP URL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html		
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		
証券コード	6373		

お知らせ (株式事務のご案内)

■ 各種手続き・ご照会について

株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。住所、氏名の後変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は、口座を開設されている証券会社までご連絡下さい。

■ 特別口座について

株券電子化の実施までに証券保管振替制度をご利用されなかった株式につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されております。特別口座で管理されている株式についてのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は特別口座管理機関である三井住友信託銀行までご連絡下さい。なお、三井住友信託銀行の全国本支店でもお取次いたします。

■ 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場における取引単位を1単元(1,000株)とさせていただいておりますので、単元未満株式(1から999株)の株式は証券市場でのお取引ができません。当社単元未満株式の買い取りをご希望される株主様は、お取引のある証券会社(特別口座が開設されている株主様は、三井住友信託銀行)までお問い合わせ下さい。なお、買取請求に関する手数料は無料となっております。

■ 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.did-daido.co.jp/>



投資家の皆様に財務情報や最新トピックスをご提供しております。



より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ホームページ
[投資家向け情報] をご覧下さい。

大同工業 投資家向け情報

検索

<http://www.did-daido.co.jp/jp/ir/index.html>

